

第 37 回横浜マリノールカップ 男子Bゾーン決勝 7月 31 日(日)

西柴ONEGOAL 57 vs 40 望洋ファイターズ

1Q

西柴がオールコートマンツーマン、望洋はハーフコートマンツーマンでゲームが始まる。立ち上がり、西柴#4のドライブからのゴール下シュートが決まる。望洋#4もドライブからのカットインで得点する。両チームとも1対1のドライブからの攻めとリバウンドで得点を重ねる。

15対17望洋リードで第1Q終了。

2Q

両チームともオールコートマンツーマンでゲームが進む。望洋は#6、#7の力強いドライブインやフックシュートで得点するが、西柴の#5のドライブインと#7のポストプレイが徐々に機能し始め、連続得点して逆転する。望洋は#8のポストプレイで反撃を試みるが、西柴の巧みなディフェンスで得点を阻まれる。西柴#5と#7ポストとの合わせが効果的であった。32対23西柴リードで前半を終了する。

3Q

望洋がプレス気味のオールコートマンツーマン、西柴はオールコートノーマルマンツーマンでゲームが始まる。望洋は#4、#6、#7がパスランを試みるが、西柴のヘルプディフェンスが奏功し攻めあぐみ2分間得点が止まる。一方西柴は、#5のロッカーモーションからの1対1や、リバウンドからの速攻が着実に決まり得点を伸ばす。望洋は、#6のスクリーンから打開策を図るが思うように攻めきれない。#4のミドルや、ドライブインが単発で決まるだけとなる。西柴は相手の苦しいシュートのリバウンドを確実に取り、速攻につなげ加点する。48対28西柴リードで第3Q終了。

4Q

望洋はオールコートのディフェンスを強化し、西柴にプレッシャーをかける。西柴はオールコートのマンツーマンでゲームを進める。望洋は何とか打開しようと#8のポストプレイや#6のドライブからのバックシュートで食らいつく。しかし、西柴はディフェンスで相手のプレイを読み、連続得点を与えない。そして#4のカットインや#7のポストとの合わせで加点する。

後半、終始おちついてゲームを進めた西柴が57対40で、うれしい初優勝を飾った。敗れはしたが、望洋の#4を中心としたドライブインの力強さには目を見張るものがあった。

両チームの澁刺とした1対1のプレイにエールを贈りたい。

